

▶ 本町土地総面積の約80%を超えるスギ人工林は、木材価格の低迷と高齢化、人口減少等により伐期等を過ぎても手がつけられていない森林が多く存在する。素材生産業者が森林組合のみであった本町では、新林業事業体を設立し、森林環境譲与税を活用して担い手育成・確保に取り組むと共に、未整備林の保育間伐等を実施。

□ 事業内容

1 森林経営計画の作成を促進するための森林調査

- 林道沿い等で森林経営に適すると判断でき、今後経営計画を策定できる可能性のある森林について、地域活動（森林調査活動等）を実施。

【事業費】1,870千円（うち譲与税1,870千円）

【実績】次年度において新たに50.4haの経営計画を策定し搬出間伐を行う予定。

2 経営に適するか否かを判断するための森林調査

- 意向調査の結果により、市町村への経営管理を希望した森林について地域活動（森林調査活動等）を実施。

【事業費】3,740千円（うち譲与税3,740千円）

【実績】新たに104.3haの森林調査が完了し、次年度以降の間伐等実施箇所の計画をすることができた。

3 保育間伐の実施

- 昨年度に実施した地域活動（森林調査活動等）の結果により、ある程度まとまりのある地区から、近年の施業履歴及び樹齢等を鑑み、森林所有者と町が10年間の管理協定を結び保育間伐を実施。

【事業費】5,995千円（うち譲与税5,995千円）

【実績】新たに未整備林30.0haの保育間伐を実施した。

4 木材利用の普及啓発・開発業務

- 紙やプラスチック製品に代わる町産材を活用したノベルティ（記念品）等を行政団体を中心に需要調査を行いデザインから製造まで町内で完結する木づかい製品を制作、販売も行えるようになった。

【事業費】1,472千円（うち譲与税1,471千円）

【実績】32種類123個の試作品を製作し普及啓発を行った。

5 上勝町森林環境基金へ積立て

- 今後増大すると予想される町森林経営管理事業や担い手の育成に必要な拠点施設及び林業機械の導入に備えた積立てを実施。

【事業費】14,964千円（うち譲与税14,964千円）

□ 工夫・留意した点

- 森林組合が通常進めている搬出間伐事業に加え、新たに令和2年度から保育間伐事業が実施ができる体制ができた。先々を見据え、先行した森林調査を実施し、切れ目のない事業の実施を行うよう努める。結果、新規林業就労者2名の雇用につながった。
- 経営に適する森林と適さない森林とを、森林組合及びかみかつ森林環境公社で施業を分担することにより、各事業所の強みを活かした体制づくり（担い手育成・確保）を進めている。



▲新規林業就労者による保育間伐の実施



▲新しく開発した木づかい製品の一部

□ 使途の状況

	事業区分	事業総額（千円）			
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）	
1	森林経営計画促進森林調査	1,870	0	1,870	0
2	森林経営管理制度森林調査	3,740	0	3,740	0
3	かみかつ的森林経営管理事業（保育間伐）	5,995	0	5,995	0
4	木材利用の普及啓発・開発事業	1,472	0	1,471	1
5	基金積立（森林整備等）	14,964	14,964	0	0
	合計	28,041	14,964	13,076	1

担当課：上勝町産業課 林業振興担当

TEL 0885-46-0111（代）